



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

カタール経済：ガス価格上昇が財政黒字に貢献

(12月24日付現地各紙)

12月24日付現地各紙は、日本のLNG需要が増大したことによって、2012年のガス価格が少なくとも30%上昇し、これによりカタールの5.4%の財政黒字に貢献したと報じている。

1. 日本のLNG需要により2012年のガス価格が少なくとも30%上昇し、2013年のガス価格もこの高い水準を維持するであろうという事及び、この高価格はカタール名目GDPの5.4%の財政黒字達成に貢献するだろうとカタール開発企画総局は述べた。更に、同企画総局は、2011年から2016年のインフラ整備関係投資の額をカタールの国家開発戦略で950億ドルと見込んでいたものを1380億ドルに修正した。「カタールは、2013年に多額の財政黒字が見込まれる。本年6月の予測値は、名目GDPの4.8%であったところ、5.4%に修正している。」と同企画総局が2012-2013経済アウトルックを引用して述べた。これは2013年のガス価格予測によるもので、日本の原子力発電への依存度を低下させる決定によるガス需要の増大が2012年のガス価格を少なくとも30%上昇させたと述べた。
2. カタール開発企画総局は、日本のガス価格とヘンリー・ハブのガス価格のギャップは2008年8月に拡大し、更に2011年7月から2012年の上半期を通じて拡大した。最近のダイナミックな価格は地域の状況によって異なり、更に米国では非在来型ガス（シェールガス）の供給拡大がガス価格を引き下げていると述べるとともに、他方、アジア市場ではその多くが原油価格とリンクした価格で取引されており、天然ガスの需給バランスを反映した液体ガス市場の構築は未だなされていないと述べた。アジアのLNGハブの選択肢として、韓国、上海、シンガポールが検討しており、規則、金融及びインフラの整備には時間を要するが「克服できないことはない」と述べた。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799